



**ありがとう！心をつなぐ「お弁当の配達」**

**平成18年 No.169  
3月15日号**

「おばあちゃん、お元気ですか。いっしょうけんめい絵てがみを書いたので、お弁当を食べながら読んでください。」

奈川地区では週2回、お年寄りの世帯に配食サービスを行なっています。小学生が心を込めて書いた絵手紙を添え、とても喜ばれています。安否確認も兼ねての福祉サービスです。

- ・わが町の「安心と見守り」は… 2 P
- ・見守り安心ネットワークに思う… 2 P
- ・合併4地区の見守り活動… 3 P
- ・ふくしかわらばん… 4 P

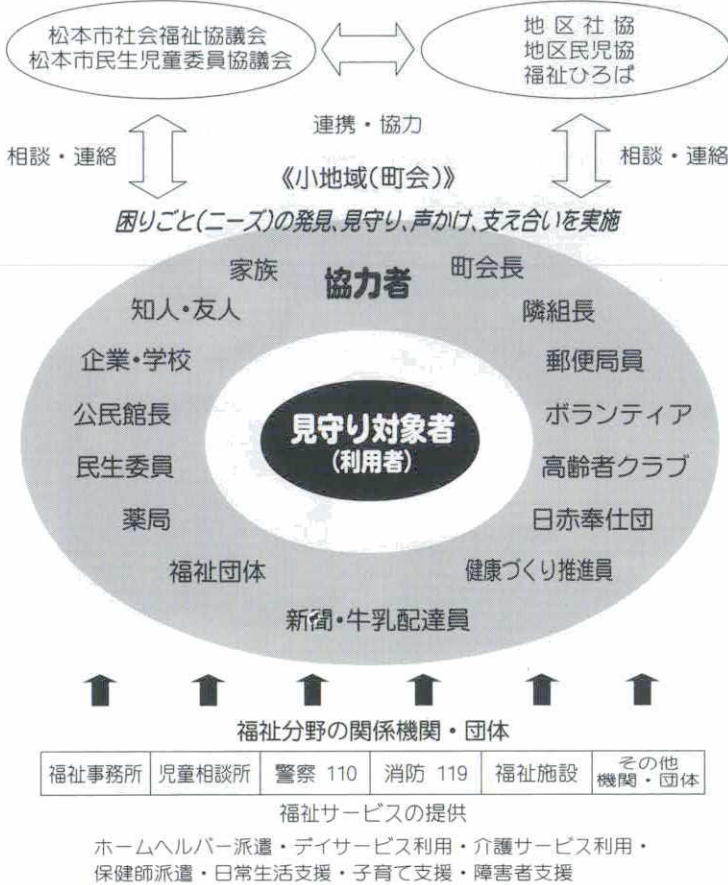
発行 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会 電話 27-2000  
 編集 社協まつもと編集委員会 FAX 27-2239  
 E-mail: syakyoum@avis.ne.jp http://www.avis.ne.jp/~syakyoum/

ふれあいネットワーク  
**社協 まつもと**

社会福祉協議会は、みなさんの会費で支えられています。

# わが町の「安心と見守り」は—

## 見守り安心ネットワーク図



少子高齢化、核家族化、都市化が進む中、地域では人と人との交流が希薄になっています。このような状況で心配になるのは、一人暮らし老人の孤独死や老老介護の不安、介護疲れ、あるいは認知症高齢者の徘徊など、さまざまな問題があります。

そこで松本市社会福祉協議会では、見守りが必要な方を近所の人が日常生活の中で無理なく見守り、緊急事態の早期発見や日頃の安否確認を行なう「見守り安心ネットワーク事業」を、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し地区社協・民生児童委員協議会・行政と連携して取り組んでいます。

平成十二年に事業を開始してから六年が経過しますが、今回は各町会での取り組みや課題を紹介します。

## 「見守り安心ネットワーク」に思う

いざという時に—  
命が大事か、プライバシーが大事か？

(本郷地区)

松本市の各地区には見守り安心ネットワークが整備されていますが、一部では「プライバシーの侵害だ」「人の世話にはなりたくない」などの壁にぶつかり、事業が有効に機能していないとの話を聞くことがあります。

一方で、実際に機能するような安心マップづくりを進める町会もあります。例えば—

①「お互い様」の関係づくり  
いざという時、つまり地震や火事、水害や大雪、または犯罪などに遭遇した際、「助けて」と言える人間関係を隣近所に築く。

②町会組織の役割確認  
町会長や町会役員、隣組長などの役割分担を再確認して速やかな助け合いができるよう合意事項を作って、みんなで共有する。

③助け合いの体制を  
公的機関や近隣町会の支援

を受けられる体制や連携を作

る。  
組織に固執せず臨機応変に対応できることが何より重要で、「その時」のためにも普段の町会活動が大切なのだと思います。

## 西荒町の見守り

(里山辺地区)

福祉に関わるようになり十余年が過ぎました。措置の時代から、サービスを自らが選択する時代に変化してきました。しかし今は逆に陽の当たらない弱者も増えています。

見守り安心ネットワークが展開されていても、守秘義務や個人情報保護のために協力者間の連携が機能していないのが現状です。

当町会では女性の会の代表と民生委員が同じなので情報がたくさん提供されます。

また高齢者は住み慣れた隣近所で互いに助け合っています。ただし長年の付き合いの中にはルールやきまりごとがあり、そこは慎重に対応する必要があります。

情報に応じて、できる限り相談相手になって問題を解決できるように助け合うのが私の町会の見守りです。

# 合併4地区の見守り活動

あしちゃん  
作.上原ゆづり



## 安曇地区でお弁当配食

安曇地区社協の活動の中に、ボランティアの会と協力して行なう「ふれあい弁当」事業があります。

地区内の一人暮らし高齢者や、高齢者のみの世帯に毎月1回、手づくり弁当をお届けするこの事業は、小中学生の絵手紙を添えるなど、世代を越えた活動として根づいてきました。しかし、安全面に配慮して始めた検便料金のために事業費が増加したことに加え、ボランティアのみなさんが高齢化しているなど、今後の活動について見直す時期になってきているとも感じます。



小学生といっしょに料理づくり

## 四賀地区の活動の中で

ある夜、突然電話が鳴りました。94歳のおばあちゃんから「すぐに来てほしい」とのこと。ご近所だったので走って駆けつけました。すると、とても悲しい顔をして痛みを訴えています。どうやら食事の片付けの際に、お盆を持ったまま居間と台所の境につまづき転倒したようです。民生委員として私は、すぐに病院に連れて行って痛みと不安を取り除いてもらおうと思い、救急車を呼んで付き添いました。病院の先生の対応もよく、すぐに検査してもらえました。おばあちゃんお大事に！

## 奈川地区も児童が活躍

奈川では、ボランティアグループ「ささゆりの会」の協力を得て、毎週2回、お年寄りの世帯に配食サービスを行なっています。お弁当には小学生が心を込めて書いた絵手紙が添えられ、また配達しながら安否確認も行なうなど、顔の見えるサービスを提供しています。また世代間交流として小学生や保育園児との交流も盛んで、12月のクリスマス会では小さい地域ながら普段顔を合わす機会の少ない人も、身近な話題に花を咲かせていました。

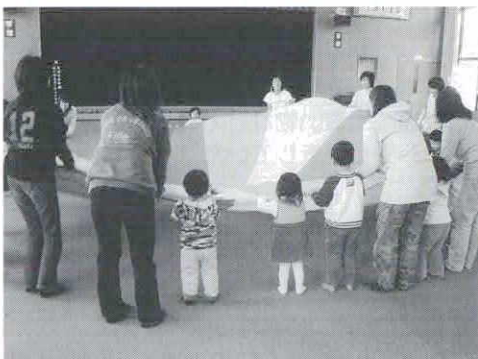


子どもの絵手紙を添えて

## 梓川地区は交流主体で

以前、梓川で実施したアンケートでは、高齢者や子育て支援に多くの期待が寄せられていたのでこれらを重点として事業を展開してきました。高齢者世帯への支援は給食サービス・ふれあい会食会・シルバーの集い等、交流の機会を多く取り入れています。また子育て支援では、若いお母さんの不安を軽くしようとインストラクターやボランティアと協力して“子育てサロン”を開設。参加者は親子のふれあいを楽しんでいます。

その他には、災害援護を想定した図上訓練も実施しています。



親子で楽しく子育てサロン

# ふくし・かわらばん

## ご協力ありがとうございました

### 赤い羽根共同募金

共同募金運動では、市民の皆様のご理解とご支援をいただき、大きな成果を上げることができました。お寄せいただいた募金は、地域福祉推進のために大切に使用させていただきます。

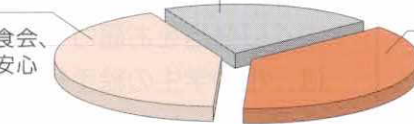


**34地区社協事業**  
敬老会、ふれあい会食会、子育て講座、見守り安心ネットワーク事業等  
18,194千円(42.3%)

**市社協福祉事業**  
「社協まつもと」発行、市社会福祉大会、児童遊園地整備、福祉自動車貸出等 8,931千円(20.7%)

**平成17年度**  
◆目標額 33,808千円  
◆実績額 43,029千円  
◆達成率 127.3%

**県内の福祉事業**  
社会福祉団体、社会福祉施設、災害被災世帯等  
15,904千円(37.0%)



### 日赤社資

日赤松本市地区では、皆様からいただいた社資を財源に、地域でさまざまな事業を展開しています。

- ◆救急救命法、幼児安全法、家庭介護法の講習
  - ◆健康や安全を守るための勉強会や交流会
  - ◆災害に備えた訓練など
- ※地区・町会で炊き出し訓練を実施します。

**本社事業費へ**  
国際救援活動等  
5,283千円(15%)

**平成17年度**  
◆目標額 37,922千円  
◆実績額 35,023千円  
◆達成率 92.3%



**市地区・34分区事業費へ**  
8,650千円(25%)

**県支部活動へ**  
災害救助、医療事業、青少年赤十字・地域奉仕団の育成等  
21,090千円(60%)

### 市社会福祉協議会への寄付

**高額寄付金** さくら会

**一般寄付金** アクサ生命保険(株)松本支店、(株)日本禁煙友愛会松本支部、長野県大衆音楽協会、帯刀正樹、松本マジックマニアズ、長野県理容衛生同業組合松本支部・青年部・女性部、安曇野同好会、日赤奉仕団芳川分団、大林照雄、斉藤敏美、岡田夏まつり実行委員会、松本市ボランティア連絡協議会、岡田地区町会連合会、(株)カミジョウバック、(株)コトブキバック、岡田高齢者クラブ、岡田希望の家保護者、岡田地区民生児童委員協議会、唐澤庄吾、松南地区福祉ひろば、庄内地区町会連合会、伊藤睦子、飯田しのぶ、萩原なほ、杉山はる美、田中美樹、村山昌子、山口真理、松本アルプスライオンズクラブ、(株)ホクエツ、野口宏、匿名3件

**市社協賛助会員** アルピコ通商(株)、信州印刷(株)、松本車輛(株)、川重冷熱工業(株)、(株)トラベル本舗、松本市建設事業協同組合、(株)公害技術センター松本支店、(株)ナガキユウ、(株)松本事務機サービス、松本石油販売(株)、松本市公設地方卸売市場協議会、フジテック(株)長野営業所、電算印刷(株)

**市社協特別会員** 金森加根子、草間公子、上床秀雄、石曾根好子、鳥羽武、原田君子、阿部政男、二茅豊美、藤巻大輔、匿名1件

**物品寄付** 南信ヤクルト販売(株)、藤平三枝子、穂高町柏矢町区長、松本郵便局、出川そばの会、赤羽穠、アルプス民踊連盟、井上辰夫、帯刀正樹、高根良太、松本ローターアクトクラブ、大月仲子・田上良子、島方規行、笹賀地区社会福祉協議会、市川孝子、市村和実、青木松夫、城東地区福祉ひろば、日赤奉仕団里山辺分団、あがた児童館、N T T労組退職者の会松本支部、鎌田児童センター、安原公民館、村田恒雄、(有)カンザワ、二子児童センター、八十二銀行松本営業部、エクセラン高校、矢満田芳茂、松本音楽文化協会、蟻ヶ崎高校JRCクラブ、ナガノトマト(株)労働組合、内田児童館、寿台児童館、蟻ヶ崎東高齢者クラブ椿寿会、長野銀行(株)、「小さな親切」運動松本支部、松本市連合婦人会、長野県薬剤師会、草間宗三、樋口健、小松清志、南福岡基同好会、五常小学校児童会、法人会梓川部会、小野まさ子、山辺小学校ボランティア部、松本深志ライオンズクラブ

[順不同・敬称略] (平成17年3月1日～平成18年2月28日)  
※四賀・安曇・奈川・梓川地区の賛助・特別会員は次号で掲載

### 平成18年度 安心して活動するために ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中に、ボランティア自身の負傷や、他者を負傷させてしまった、あるいは物を壊してしまった等の事故を補償します。

- ◆掛金(年間) Aプラン 300円 Bプラン 500円 Cプラン 700円
- ◆補償期間 平成18年4月1日～平成19年3月31日
- ◆申し込み 松本市社会福祉協議会(双葉4-16) ボランティアセンター (Tel25-7311・FAX27-2239)

### 運転ボランティアを募集しています

障害者や高齢者が通院や買い物などで外出が必要となったときに、送迎のお手伝いをしていただく運転ボランティアを募集します。

社会福祉協議会の福祉自動車(スロープ付きの軽自動車・普通自動車)で活動ができる方

- ◆申し込み・問い合わせ  
松本市社会福祉協議会(双葉4-16)  
ボランティアセンター (Tel25-7311・FAX27-2239)

「社協まつもと」はみなさんの共同募金の配分金で発行されています。